

○ 地域活性事業

芸術をきっかけに、地域の魅力を未来へ伝える

地域アートプロジェクト事務局での全体進行・広報・ボランティアマネジメント・デザインディレクション・会計・シンポジウム企画立案、展覧会の企画立案・作家選定・空間演出、市民対象のワークショップ企画立案・運営・マネジメントなど、企画から事務まで全般に担当しました。

1

奈良・町家の芸術祭 はならあと 2018

地域価値の発掘作業を通して、奈良県の豊かな文化や暮らしを過去から未来に繋ぐ「奈良・町家の芸術祭 はならあと」の事務局を運営。企画立案、全体進行、会計、印刷物進行、ボランティアマネジメント業務を受託。2011-2018年の間、本芸術祭をきっかけに、39件の空き町家が利活用されました。

【主催】奈良・町家の芸術祭 HANARART 実行委員会、奈良県

【総来場者数】13,300人



吉野町国栖(はならあと こあ)

“奈良・町家の芸術祭 はならあと”のメインとなる展覧会をトータルディレクション。展示会場のひとつ「小南家」は活動が評価され、奈良県景観デザイン賞 2018 知事賞・リノベーション賞を受賞しました。

【出展作家】

居城純子、宇加治志帆、栗田咲子、権田直博+N.P.O、佐伯慎亮、しまだそう、西嶋みゆき、PIKA☆、水内義人、国栖地区有志

【会期】

2018年9月22日(土)～24日(月祝)、
9月28日(金)～30日(日)、
10月5日(金)～7日(日)

【コーディネーター】

緒方江美(トータルアートプランター うえきや)、
村田典子(一般社団法人はなまる理事)

【まちづくり団体】国栖の里観光協会

【助成】一般財団法人 ハウジングアンドコミュニティ財団



曾爾村(はならあと あらうんど)

【出展作家】木下菜、熊田悠夢、neco、邂逅

【会期】2018年10月11日(木)～15日(月)



吉野町上市(はならあと あらうんど)

【出展作家】池田慎、Animation soup

【会期】2019年2月10日(日)、11日(月・祝)



2

学園前アートフェスタ 2018

地域の魅力を見つめ直し、積極的に世代交流を行うことで街を育てる「街育」の推進を目的に2015年度にはじまった“学園前アートフェスタ”の企画制作・統括マネジメントを受託。地元運営団体のサポート、現代アート部門コーディネート(※前川俊介氏と共同)、デザイン物制作補助、広報補助、設営補助を行いました。



【出展作家】

厚芝ひろみ、伊藤樹里、塩谷龍平、嶋田ケンジ、松尾謙、吉永朋希

【期間】2018年11月3日(土)～11月10日(土)

【会場】近鉄「学園前」駅南北エリア(奈良県奈良市)

【主催】学園前街育プロジェクト実行委員会

【後援】奈良県、奈良市

【総来場者数】11,315人

3

マルカツ企画

かつて空き町家だった江戸時代の建物「マルカツ」(宇陀市重伝建地区内)を地域に開いた場にするため、地域住民対象のワークショップを定期開催。

【期間】

2018年11月22日(木)、12月8日(土)、
12月15日(土)

【講師】

伊藤しほ「お茶で染めた和紙で空間を作ろう」
「土と種でつくる クリスマスオーナメント」、
宇陀松山はならあと実行委員会「ダリア染め」



4

奈良・町家の芸術祭 はならあと 2017

吉野町国栖(はならあと あらうんど)

【出展作家】

居城純子、西嶋みゆき、宇加治志帆、しまだそう

曾爾村(はならあと あらうんど)

【出展作家】

大津安以、北浦雄大、熊田悠夢、佐々木萌水、
たかはしなつき、矢野洋輔



5

のせでんアートライン2017

ワークショップディレクター(3企画)、広報協力として参加しました。

【期間】2017年7月22日(土)～8月27日(日)

【開催地域】能勢電鉄沿線地域 【総参加者数】5,000名

